

| | | | | | | |
|--|---|-----------------------|----|---------------------------|----|--------------------------|
| 4年 | 科目 | 学外実習 I | 実習 | 前期または後期 | 担当 | 西田友久 NISHIDA Tomohisa |
| 機械工学科 | | Off-Campus Training I | 選択 | 1履修単位 | | |
| 授業の概要 | | | | | | |
| 長期休業中(原則として夏期休業中)に、企業または研究機関等において実習を行い、生産現場または研究機関等における研究・開発・生産などの活動を体験する。工業技術の体得とともに、実務経験を通じて技術者としての労働観、職業観を育成する。実施期間は1週間(30時間)とする。 | | | | | | |
| 本校学習・教育目標(本科のみ) | | | 目標 | 説明 | | |
| | | | 1 | 技術者の社会的役割と責任を自覚する態度 | | |
| | | | 2 | 自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力 | | |
| | | | 3 | 工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力 | | |
| | | | 4 | 豊かな国際感覚とコミュニケーション能力 | | |
| | | ○ | 5 | 実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢 | | |
| プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ) | 実践指針 (プログラム対象科目のみ) | | | 実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ) | | |
| 授業目標 | | | | | | |
| 工業技術の体得とともに、実務経験を通じて技術者としての労働観、職業観を育成する。 | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | |
| 実施手順 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導教員(担任)が本人の希望にもとづいて受け入れ可能な企業などを選定する。 ・履歴書、エントリーシートなどの応募書類を作成する(企業への依頼は教務係)。 ・実習内容は企業側担当者との協議の上で決定する。 ・実習先についての事前学習を行い、レポートとして提出する。 ・実習期間中は企業側の指導にしたがって実習を行う(学校宛での開始報告・終了報告が必要)。 ・実習終了後は、実習内容や成果についてまとめた実施報告書を提出する。 ・報告会で実習内容などを口頭発表(ポスターセッションを含む)する。 ※不測の事態などの場合は必ず指導教員に連絡すること。緊急の場合は学生課でもよい。 | | | | | |
| 評価方法と基準 | 事前学習レポートと実施報告書が提出され、報告会で口頭発表を行った者に対して以下の割合で評価する。 ①履歴書・エントリーシートなどの応募書類10%、②事前学習レポート25%、③開始・終了報告10%、④実施報告書25%、⑤報告会30% 60点以上を合格とするが、成績評価は評語(A, B, C, D)をもって行う。 | | | | | |
| 教科書等 | | | | | | |
| 備考 | 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 | | | | | |

